



PATO
岩手

協議会

No37号

〒020-0015
盛岡市本町通三丁目
11-50-707
日本対北朝鮮協議会
岩手県支部
[http://iwatepatoren.
at.infoseek.co.jp/](http://iwatepatoren.at.infoseek.co.jp/)

積極的に参加を

パト協議会県支部

会長 佐藤 安美

スキーシーズン中は、パトロールの常勤として勤務している関係でなかなか他のスキー場に行く機会が無いので、パトロール研修会の会場を訪れるのが手っ取り早くなってきました

と書かれた小さな看板がありました。どう見ても冬場にウエートを置いた施設のように思われました。

一日目の研修は、AEDの実践訓練でした。山形県は日赤スキーパトロールが広く普及しており、SAJパトロールも平行して活動しています。日赤の機材を多く活用出来るシステムが確立しているようで、数多くのダミー人形と、訓練用AEDを利用しての研修でした。

二日目の目玉は、山形県航
『県連での研修会』



聞くところによれば、このスキー場の起こりは、なかなかユニークなようです。この地域は昔から山菜の宝庫であったようで、山の上でワラビを栽培し、収穫したワラビを山麓の加工場まで下げるのに索道を架けたようです。冬場は搬器を交換し、人が乗車する搬器を取り付けスキーリフトとして利用しています。ちなみにレストハウスには、農林省補助の「農産加工施設」

岩手県支部総会

- ・ 日 時 2006 年 6 月 3 日 15 時～
- ・ 場 所 安比高原「グランド アネックス」
- ・ 交流会 18 時～

空防災ヘリコプターを使った、ホバリングでの負傷者吊り上げ訓練の見学でした。リフト二本を約三十分間停止し

aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa

受験パスポート
不安の中で受験
越路スキー場
伊藤靖(四五)

越路スキー場

伊藤靖(四五期)



し終わって「ああ、ようやく終わった。」と安心しきっている時、鎖骨を折ったボーダーがやって来た。その時の先輩

て、担架での吊り上げと座つたままでの吊り上げと、二つの救助方法が紹介されました。県内スキー場でも、吊り上げをしなければならぬ緊急事態が発生した場合の地上での対応訓練が必要であると感じました。

公認パトロール研修会への参加は、我々の義務でもありますがし、自分自身の技術の研鑽を高める機会でもあります。また、何かしら新しいものとの出会いもあります。積極的に参加すると共に、そして後輩を育てる意味でもパトロールの受験者の掘り起こしに努めましょう。

公認スキーパトロール
合格者(45 期)

杉山 秋夫 (花巻市スキ一協会)
伊藤 靖 (江刺市スキ一協会)
芳賀 輝浩 (一関市スキ一協会)

不安の中での受験、とりあえず合格となりましたが、他の公パト受験者の意欲と情熱、助け合い、他人を思いやる気持ちの後押しが無ければ合格できなかったと思っています（ありがとうございました）。

また、これからは諸先輩の役に立てる公パトになれるよう精進したいと思っています。これからも、御指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。